

秋季文化祭

市内 5 力所で市制施行 20 周年記念事業秋季文化祭が開催されました。



滝根町星の村文化まつり

昨年 10 月 18, 19 の両日、滝根体育馆をメイン会場に、文化団体や学校、企業などによる作品展示のほか、園児や中学生、文化協会等によるステージ発表などが行われました。



大越町文化祭

昨年 10 月 25, 26 の両日、大越行政局などで、各種団体、園児・児童・生徒・一般などの作品展示が行われたほか、公用車庫内を会場にミニ四駆体験などが繰り広げられました。



常葉町文化祭

昨年 10 月 25, 26 の両日、常葉公民館などで開催されました。各種作品展示のほか、チャリティーバザーや木工教室、中野区緑化業協会による花苗配布などで盛況でした。



船引地区文化祭

昨年 10 月 11 日～11 月 23 日、中央公民館、市文化センターをメイン会場に、各種大会、コンサート、そば祭り、作品展示やワークショップなどが行われました。



都路町文化祭

昨年 11 月 8, 9 の両日、古道体育馆で開催されました。都路こども園や都路小・中学校の児童・生徒の作品や、地域団体や高齢者の手作り作品、創意あふれる出展が並びました。



堀越集落が農林水産大臣賞を受賞

昨年 11 月 11 日、農山漁村におけるむらづくりの優良事例を表彰する 7 年度「豊かなむらづくり全国事業「ふれあいハイキング」の表彰式が仙台合同庁舎（仙台市）で行われ、船引町の堀越集落が農林水産大臣賞を受賞しました。法人 2 階建て方式による集落営農活動などが評価されました。

（一社）ほりこし創生会の佐藤松美代表は「今回の受賞は、集落の農業を守るために活動を続けてきた先輩方のおかげであり、この受賞を励みに、今後も堀越集落の農業を守るために力を尽くしたい」と話しました。



ふれあいハイキング

昨年 11 月 9 日、常葉町内の磯前神社や桧山高原を巡る、中央公民館事業「ふれあいハイキング」を開催し、市内から 16 人が参加しました。

小雨の中、終わりゆく紅葉と自然を感じながらハイキングを楽しみました。参加された皆さん、「ふるさとを再発見できてよかったです」「紅葉がきれいで楽しかった」と、話していました。



箭内幸一さん 2 年連続で農林水産大臣賞受賞

昨年 10 月 25 日、郡山市の県林業研究センターで福島県きのこ品評会の表彰式が行われ、箭内幸一さん（滝根町）が生しいたけ（原木栽培）で、最高賞の農林水産大臣賞を 2 年連続で受賞しました。高品質の生しいたけで、今回を含め、通算 16 回目の受賞となります。

箭内さんは「『一点集中』で半世紀を歩んで来た道、千辛万苦であったが、受賞も励みに、これからも夢を持って頑張りたい」と述べられました。



滝根町観光協会が川口市で観光 PR

滝根町観光協会は埼玉県川口市で、昨年 10 月 11, 12 の両日開かれた「第 100 回秋の安行花植木まつり」、11 月 15, 16 の両日開かれた「かわぐち物産観光フェア 2025」に参加しました。

滝根町観光協会は川口市観光物産協会と 40 年近く交流が続いている川口市民の皆さんに田村市の魅力を PR しました。観光協会ブースでは、観光パンフレット配布のほか、滝根町の秋の味覚が当たる抽選会が実施され、多くの人にぎわいました。



かぶと虫杯スポーツ大会 4 種目で熱戦

市かぶと虫杯の少年サッカー、ミニバスケットボール、小学生バレーボール、選抜学童野球各大会が昨年 7 月から 11 月、市内で開催され、県内外から多くのチームが参加し、熱戦が繰り広げられました。大会結果は市ホームページをご覧ください。

写真は少年サッカー大会 U10 準優勝の常葉サッカースポーツ少年団の写真です。



防災訓練で地域の意識を醸成

昨年 11 月 16 日、滝根町の入水多目的集会所で、防災訓練が行われました。

訓練には、市から指定管理を受託している入水多目的集会所管理運営協議会員を含む、入水地域住民 35 人が参加。建物内からの出火を想定した消防署への通報訓練、消火器を用いた消火訓練などを実施しました。

算数は、決まりを見つけて数を求める問題に取り組みました。国語は、具体化と抽象化の問題に取り組みました。参加者は本訓練を通じ、防災意識を高めるとともに、地域内での連携や「いざという時」の備えについて知識を深めています。

第 5 回たむらチャレンジ塾

昨年 11 月 15 日、市役所で、小学 5・6 年生の希望者を対象に「たむらチャレンジ塾」を開催しました。算数・国語・英語の学力アップを目的とし、全 5 回の最終回で今回は 17 人が参加しました。

算数は、決まりを見つけて数を求める問題に取り組みました。国語は、具体化と抽象化の問題に取り組みました。英語は、英語の指示をもとに、絵を完成させる学習をグループに分かれて行いました。

市新そばまつり

昨年 11 月 8, 9 の両日、中央公民館駐車場で、市新そばまつり実行委員会主催の第 6 回田村市新そばまつりが開催されました。

市内の 3 つのそば団体が出店し、市内産の香り高い十割そばが多くの方に振る舞われました。

また、新そば以外にも、地元グルメが多数出店したほか、よさこいとダンスのステージ発表が開催され、好評を集めました。

吉田さんが市就農型地域おこし協力隊就任

昨年 11 月 7 日、市役所で、市就農型地域おこし協力隊の委嘱状交付式が行われ、吉田有毅さんが就任しました。

市就農型地域おこし協力隊は、就農するために必要な技術を身につけるため、福島県が認定する田村地域の農業研修機関（農家）で研修を受け、卒隊後は市内で独立就農することを目指します。

吉田さんは「大学で研究したバイオ工学と北海道で学んだ農業技術をいかして将来は独立就農をしたい」と抱負を語りました。

人権啓発活動「JA 福島さくら感謝祭出展」

市人権擁護委員は昨年 11 月 2 日、市総合体育馆で開催された JA 福島さくら感謝祭に参加し、人権啓発活動を行いました。

当日は、来場者に啓発チラシやグッズを配布したほか、人権イメージキャラクター「まもる君」と「あゆみちゃん」の着ぐるみが登場し、子どもたちと一緒に写真を撮ったりして楽しみました。今後も市内で啓発活動を積極的に実施し、人権の大切さを伝えます。